

平成十四年度 青森県豊かな海づくり大会開催

「漁業の未来のため、持続利用可能な資源を回復させることと併せて、環境の美化整備による美しい漁村づくりの重要性を広く県民にアピールすることを目的として開催する」を趣旨に、平成十四年度「青森県豊かな海づくり大会」が、七月二十日（土）あいにくの雨により青い海公園から県水産ビルに場所を変更し、県内漁業関係者約二百五十人が参加し開催された。



主催者挨拶をする植村会長

「漁業の未来のため、持続利用可能な資源を回復させることと併せて、環境の美化整備による美しい漁村づくりの重要性を広く県民にアピールすることを目的として開催する」を趣旨に、平成十四年度「青森県豊かな海づくり大会」が、七月二十日（土）あいにくの雨により青い海公園から県水産ビルに場所を変更し、県内漁業関係者約二百五十人が参加し開催された。



祝辞を述べる木村県知事

な海を次の世代に残していかなければならない」と挨拶。来賓として木村守男県知事、富田重次郎県議会議長が祝辞を述べた後、本県水産業において、他の模範となる、優れた実績を上げている個人や団体を表彰する「青森県水産大賞」が村上吉美氏（横磯漁業生産組合長）と濱浦勉則氏（全国中型いか釣漁労長連合会長）の二名に贈られた。

また、青森県漁業士会の八木沢健一さんが「資源管理型漁業の推進について」、青森県漁協女性組織協議会の飯田洋子さんが「青い海づくりは私たちの手で」と題して、それぞれ「浜の声」としての取り組みを発表した。



祝辞を述べる富田県議会議長

最後に、古川俊大会実行委員会副会長が大会決議を朗読し、満場一致で賛同決議された。（大会決議文別記）
そのほか、実行委員会から「はまなす海岸美化協議会」へはまなすの苗木の贈呈式そして幼稚園児も参加し、ヒラメ・クロソイの稚魚放流も行なわれた。



